

「家がいいね」 第221号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2022. 10. 1

二つの椅子が、しゃべりだす



神戸で先生の診察室を見学し、自分もこういう形と思えました。真似し、使い続けて20年余。まず待合室に顔を出し、椅子に招く間のご様子も拝見します。次の言葉は椅子に座られてからゆっくりと待ちます。沈黙も間合いに入れて、椅子が支えます。

ついに会えなかった恩師は、中井久夫先生



中井久夫
Nakai Hisao

こんどとき
私はどうしてきいたか

希望を失わない力。

はじめて出逢ったとき、
運命をふまわらねたことになったとき、
運命が違っていたとき、
私は患者さんにこんな言葉をかけてきた――

医学書院

心療内科の孫が精神科医の祖父を敬う気持ちで、中井先生を遠くから思っていました。人を育てる言葉は豊富でした。診察場面は想像するしかないのですが、患者さんに「恥をかかせるようなことをしない」態度を、教えられたと感じています。

横から見て、上から見て いかがでしょうか



「看護という職業は、医師よりもはるかに古くはるかにしっかりとした基盤の上に立っている。医師が治せる患者は少ない。しかし看護できない患者はいない。息を引き取るまで、看護だけはできるのだ」

共著「看護のための精神医学」から引用。

人生への態度 ガンジーの言葉から

「あなたのすることのほとんどは無意味であるが、それでもしなくてはならない。そうしたことをするのは、世界を変えるためではなく、世界によって自分が変えられないようにするためである」

理想が世の中で実現するかどうかより先に、この自分が長いものに巻かれ腐った妥協をするのではいけないと諭しているのです。自分の声をあげるとは、そういうことなのかもしれない。

「明日は死ぬと思って生きなさい。永遠に生きると思って学ばなさい」も彼の言葉です。

クリニックメンバーが交代しました

顔ぶれが変わりましたが在宅の気持ちは今まで以上に温かく保ちます。よろしくお願いします。

安全に、おしゃべりすることは大事ですね



9月25日(休日は息抜き)
那智の滝の遠景です。

がん患者と家族の
おしゃべりサロン in 伊勢

お話を聞いたり、悩みを話したり、一人で悩まず一緒に話したり、お話ししましょう。

とき 10月20日(休)・11月17日(休)・12月15日(休)・令和5年1月19日(休)・2月16日(休)・3月16日(休)・13時30分～15時30分

ところ 福祉健康センター・1階

対象 がん患者、またはその家族

申し込み 各開催日の前日までに、電話で三重県がん相談支援センター(☎059-912-2311616)



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御薊町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可

臨時休診のお知らせ
日本死の臨床研究会(全国大会) 出席のため
11月26日(土)は休ませていただきます。